

## 人を対象とする医学系研究に関する情報の公開

### 『院内がん登録の予後調査支援事業について』

#### 研究参加と既存情報の提供についての公開情報

##### ①(名称)院内がん登録の予後調査支援事業

(病院長の許可)承認済み。

##### ②(研究機関の名称)国立がん研究センター

(研究責任者の氏名)理事長 中釜 斉

##### ③(研究の目的・意義)

がん対策基本法第9条第1項に基づき策定され、平成24年6月17日閣議決定された「がん対策推進基本計画」の3(4)がん登録(取り組むべき施策)「法的位置付けの検討も含めて、効率的な予後調査体制を構築し、地域がん登録の精度を向上させる。」、ならびに(個別目標)「5年以内に、法的位置付けの検討も含め、効率的な予後調査体制の構築や院内がん登録を実施する医療機関数の増加を通じて、がん登録の精度を向上させることを目標とする。また、患者の個人情報の保護を徹底した上で、全てのがん患者を登録し、予後調査を行うことにより、正確ながんの罹患数や罹患率、生存率、治療効果等を把握し、国民、患者、医療従事者、行政担当者、研究者等が活用しやすいがん登録を実現することを目標とする。」に基づいて、予後調査を支援する事業として、各施設の行う予後調査を国立研究開発法人国立がん研究センター(以下国立がん研究センター)がその事業を付託される形で実施するもの。

##### ④(研究の方法及び期間)

(方法)

当院において、2012年診断例として登録された腫瘍データに対し、データチェックツールで、識別情報(氏名・性別・生年月日・最新住所)を暗号化する。暗号化されたデータをCD-Rに保存し、国立がん研究センターへ郵送する(簡易書留)。

(期間)

2023年6月26日～2024年7月31日

##### ⑤(研究対象者として選定された理由)

当院において、2012年診断例として登録された腫瘍データのため。

##### ⑥(研究対象者に生ずる負担並びに予測されるリスク及び利益)

なし。